Unified Manager GUI でパフォーマンスワークフローを操作する

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/performance-checker/concept_navigate_performance_workflows_in_unified_manager_ui.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Unified Manager GUI でパフォーマンスワークフローを操作する . . . 1
- Active IQ Unified Manager GUI でパフォーマンスワークフローをナビゲートする . . . 1
- Active IQ Unified Manager UI にログインする . . . 1
- グラフィカル インターフェイスと操作手順 . . . 2
  - Active IQ Unified Manager のグラフィカルインターフェースとナビゲーションパスを確認する . . . 2
  - Active IQ Unified Manager でクラスターオブジェクトのナビゲーションを監視する . . . 2
  - Active IQ Unified Manager でのクラスターパフォーマンスナビゲーションの監視 . . . 3
  - Active IQ Unified Manager でパフォーマンスイベントを調査する . . . 6
- Active IQ Unified Manager でストレージオブジェクトを検索する . . . 7
- Active IQ Unified Manager でインベントリページのコンテンツをフィルタリングする . . . 8
  - フィルタリングの例 . . . 9

Unified Manager GUI でパフォーマンスワークフローを操作する

Active IQ Unified Manager GUI でパフォーマンスワークフローをナビゲートする

Unified Managerのインターフェースには、パフォーマンス情報の収集と表示のためのページが多数用意されています。左側のナビゲーションパネルを使用してGUI内のページに移動し、ページ上のタブとリンクを使用して情報を表示および設定します。

クラスタのパフォーマンス情報を監視し、トラブルシューティングを行うには、以下のすべてのページを使います。

- ダッシュボード ページ
- ストレージおよびネットワーク オブジェクトのインベントリ ページ
- ストレージ オブジェクトの詳細ページ（パフォーマンス エクスプローラを含む）
- 構成および設定ページ
- イベント ページ

Active IQ Unified Manager UI にログインする

Unified ManagerのUIには、サポートされているWebブラウザからログインできます。

開始する前に

- Webブラウザが最小要件を満たしている必要があります。

  サポートされているブラウザバージョンの完全なリストについては、 "mysupport.netapp.com/matrix"の相互運用性マトリックスを参照してください。

- Unified ManagerサーバのIPアドレスまたはURLが必要です。

1時間何も操作を行わないと、セッションから自動的にログアウトされます。この期間は、「一般」＞「機能設定」で設定できます。

手順

1. Webブラウザに、下記の形式でURLを入力します。URLは、Unified ManagerサーバのIPアドレスまたは完全修飾ドメイン名（FQDN）です。
   - IPv4の場合： `https://URL/`
   - IPv6の場合： `https://[URL]/`

自己署名のデジタル証明書がサーバで使用されている場合、信頼されていない証明書であることを伝える警告がブラウザ画面に表示されることがあります。その場合は、危険を承諾してアクセスを続行するか、認証局（CA）の署名のあるデジタル証明書をインストールしてサーバを認証します。.ログイン画面で、ユーザ名とパスワードを入力します。

Unified Managerのユーザ インターフェイスへのログインがSAML認証で保護されている場合は、Unified Managerのログイン ページではなくアイデンティティ プロバイダ（IdP）のログイン ページでクレデンシャルを入力します。

[Dashboard]ページが表示されます。

Unified Managerサーバが初期化されていない場合は、新しいブラウザ ウィンドウに初期設定ウィザードが表示されます。このウィザードで、Eメール アラートの受信者およびEメール通信を処理するSMTPサーバを入力し、AutoSupportでUnified Managerに関する情報のテクニカル サポートへの送信が有効になっているかどうかを指定します。これらの情報の入力を完了すると、Unified ManagerのUIが表示されます。

グラフィカル インターフェイスと操作手順

Active IQ Unified Manager のグラフィカルインターフェースとナビゲーションパスを確認する

Unified Managerは非常に柔軟性が高く、さまざまな方法で複数のタスクを実行できます。Unified Managerで作業を進めるにつれて、多くのナビゲーションパスを発見することになるでしょう。ナビゲーションの可能な組み合わせすべてを示すことはできませんが、よくあるシナリオのいくつかについては理解しておく必要があります。

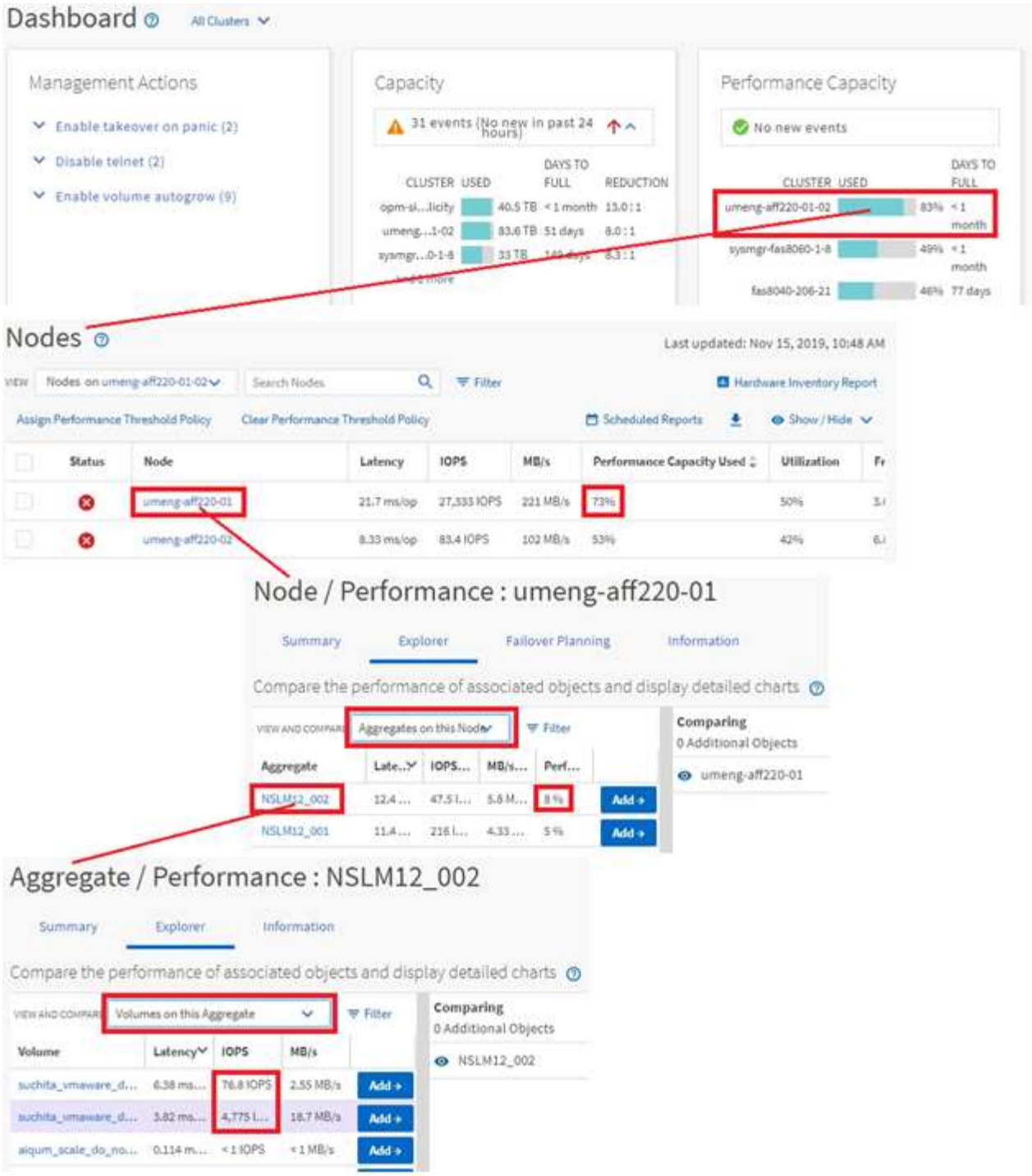
Active IQ Unified Manager でクラスターオブジェクトのナビゲーションを監視する

Unified Managerで管理しているクラスタ内のすべてのオブジェクトのパフォーマンスを監視できます。ストレージ オブジェクトの監視では、クラスタとオブジェクトのパフォーマンスの概要を確認し、パフォーマンス イベントを監視します。パフォーマンスとイベントの総合的な情報を表示することも、オブジェクトのパフォーマンスとパフォーマンス イベントの詳しいデータを表示して調査することもできます。

次に、クラスタ オブジェクトを監視する際の操作例を紹介します。

1. [ダッシュボード]ページで、[パフォーマンス容量]パネルの詳細を確認して使用済みパフォーマンス容量が最も多いクラスタを特定し、棒グラフをクリックしてそのクラスタのノードのリストに移動します。
2. 使用済みパフォーマンス容量の値が最も高いノードを特定し、そのノードをクリックします。
3. ノード/パフォーマンスエクスプローラーページから、「表示と比較」メニューの「このノードのアグリゲート」をクリックします。
4. 使用済みパフォーマンス容量が最も多いアグリゲートを特定し、そのアグリゲートをクリックします。
5. Aggregate / Performance Explorerページから、「表示と比較」メニューの「このAggregateのボリューム」をクリックします。
6. IOPSが最も高いボリュームを特定します。

特定したボリュームを調べて、QoSポリシーまたはパフォーマンス サービス レベル ポリシーを適用するかどうかを判断するか、またはポリシーの設定を変更し、これらのボリュームが使用するIOPSの割合が少なくなるようにします。



Active IQ Unified Manager でのクラスターパフォーマンスナビゲーションの監視

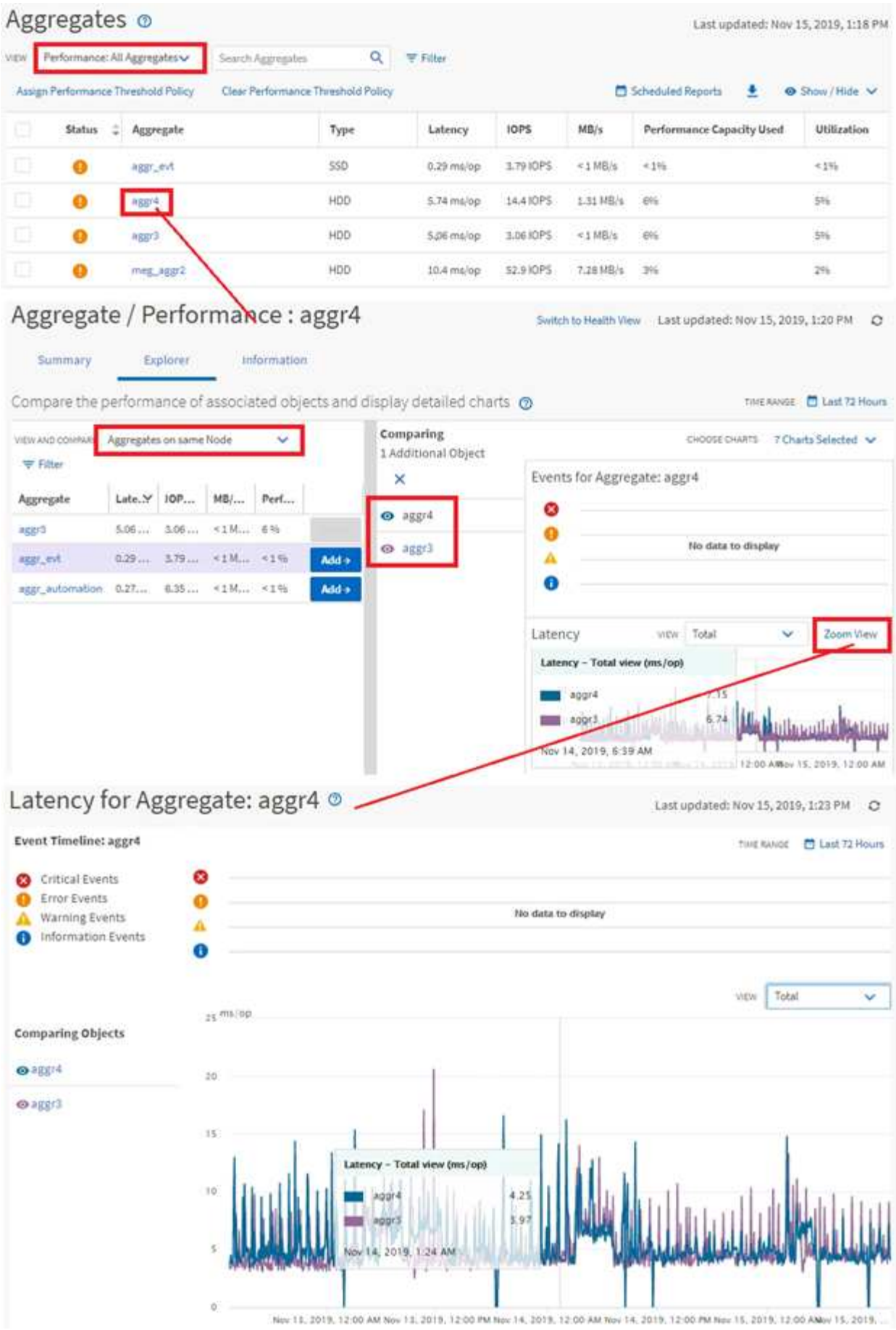
Unified Managerで管理しているすべてのクラスタのパフォーマンスを監視できます。クラスタの監視では、クラスタとオブジェクトのパフォーマンスの概要を確認し、パフォーマンス イベントを監視します。パフォーマンスとイベントの総合的な情報を表示することも、クラスタとオブジェクトのパフォーマンス、パフォーマンス イベントの詳しいデータを表示して調査することもできます。

次に、クラスタ パフォーマンスを監視する際の操作例を紹介します。

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*アグリゲート*をクリックします。
2. これらのアグリゲートのパフォーマンスに関する情報を表示するには、「Performance: All Aggregates」ビューを選択してください。
3. 調査するアグリゲートを特定し、そのアグリゲート名をクリックして[アグリゲート / パフォーマンス エクスプローラ]ページに移動します。
4. 必要に応じて、[表示して比較]メニューでこのアグリゲートと比較する他のオブジェクトを選択し、そのうちの1つを比較ペインに追加します。

   両方のオブジェクトの統計データが、比較できるようにカウンタ グラフに表示されます。

5. エクスプローラーページの右側にある比較ペインで、カウンターチャートのいずれかにある「ズームビュー」をクリックすると、その集計値のパフォーマンス履歴の詳細が表示されます。


Aggregates
Last updated: Nov 15, 2019, 1:18 PM
VIEW
Performance: All Aggregates
Search Aggregates
Filter
Assign Performance Threshold Policy
Clear Performance Threshold Policy
Scheduled Reports
Show / Hide
Status
Aggregate
Type
Latency
IOPS
MB/s
Performance Capacity Used
Utilization
aggr_evt
SSD
0.29 ms/op
3.79 IOPS
< 1 MB/s
< 1%
aggr4
HDD
5.74 ms/op
14.4 IOPS
1.31 MB/s
6%
5%
aggr3
HDD
5.06 ms/op
3.06 IOPS
< 1 MB/s
6%
5%
meg_aggr2
HDD
10.4 ms/op
52.9 IOPS
7.28 MB/s
3%
2%
Aggregate / Performance : aggr4
Switch to Health View
Last updated: Nov 15, 2019, 1:20 PM
Summary
Explorer
Information
Compare the performance of associated objects and display detailed charts
TIME RANGE
Last 72 Hours
VIEW AND COMPARE
Aggregates on same Node
Filter
Aggregate
Late...
IOP...
MB/...
Perf...
aggr3
5.06 ...
3.06 ...
< 1 M...
6 %
aggr_evt
0.29 ...
3.79 ...
< 1 M...
< 1 %
Add
aggr_automation
0.27...
6.35 ...
< 1 M...
< 1 %
Add
Comparing
1 Additional Object
CHOOSE CHARTS
7 Charts Selected
aggr4
aggr3
Events for Aggregate: aggr4
No data to display
Latency
VIEW
Total
Zoom View
Latency – Total view (ms/op)
aggr4
7.15
aggr3
6.74
Nov 14, 2019, 6:39 AM
12:00 AM
Nov 15, 2019, 12:00 AM
Latency for Aggregate: aggr4
Last updated: Nov 15, 2019, 1:23 PM
Event Timeline: aggr4
TIME RANGE
Last 72 Hours
Critical Events
Error Events
Warning Events
Information Events
No data to display
VIEW
Total
Comparing Objects
aggr4
aggr3
ms/op
25
20
15
10
5
0
Latency – Total view (ms/op)
aggr4
4.25
aggr3
3.97
Nov 14, 2019, 1:24 AM
Nov 13, 2019, 12:00 AM
Nov 13, 2019, 12:00 PM
Nov 14, 2019, 12:00 AM
Nov 14, 2019, 12:00 PM
Nov 15, 2019, 12:00 AM
Nov 15, 2019,

Active IQ Unified Manager でパフォーマンスイベントを調査する

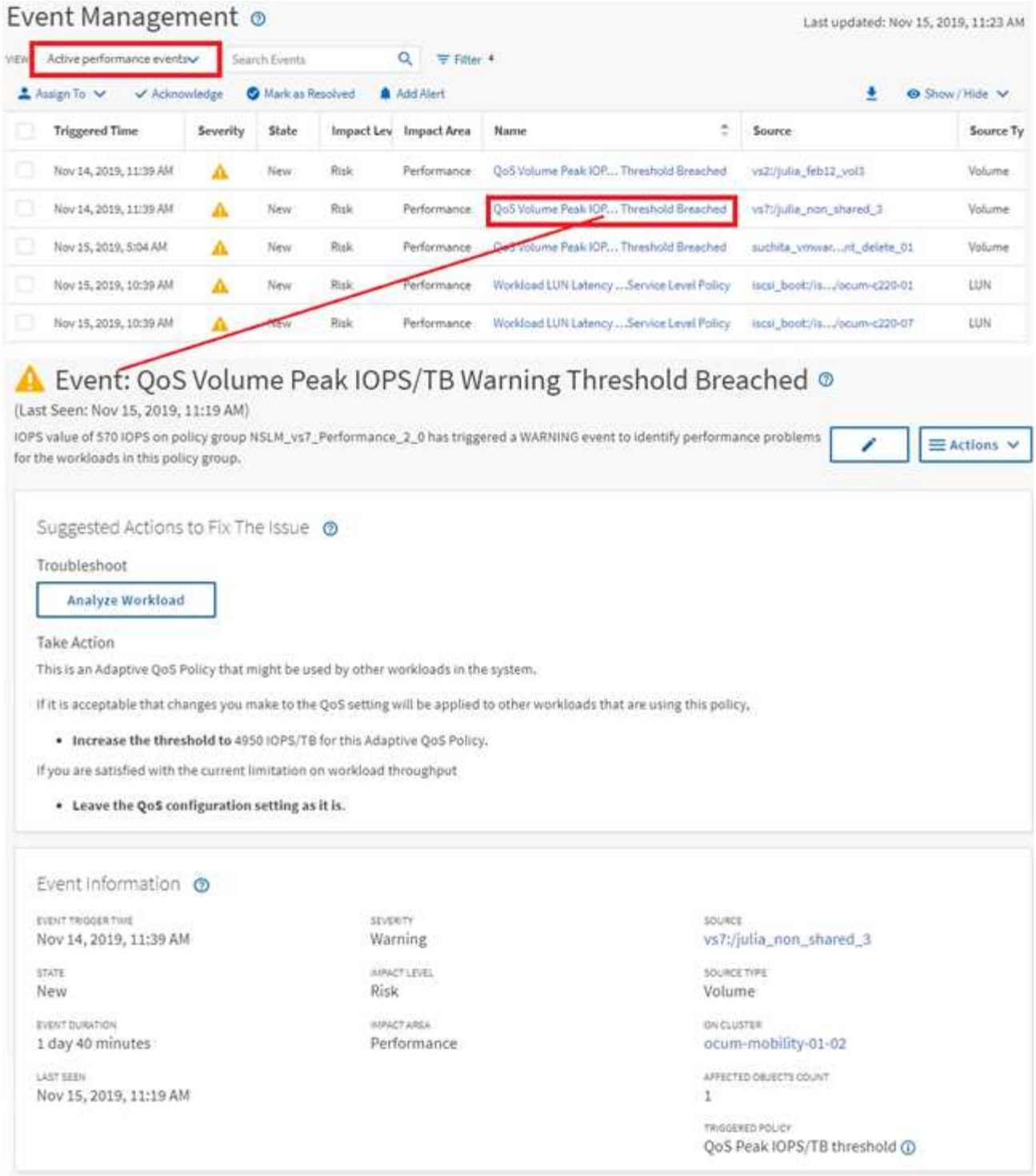
Unified Managerのイベント詳細ページには、パフォーマンス イベントに関する詳しい情報が表示されます。トラブルシューティングやシステムのパフォーマンスの微調整を行う際に、このページでパフォーマンス イベントを調査できます。

パフォーマンス イベントのタイプに応じて、次のいずれかのイベント詳細ページが表示されます。

- ユーザ定義およびシステム定義のしきい値ポリシー イベントの[イベントの詳細]ページ
- 動的しきい値ポリシー イベントの[イベントの詳細]ページ

以下は、イベントを調査する際の手順の一例です。

1. 左側のナビゲーションペインで、*イベント管理*をクリックします。
2. 「表示」メニューから「アクティブなパフォーマンスイベント」をクリックします。
3. 調査するイベントの名前をクリックすると、[イベントの詳細]ページが表示されます。
4. イベントの[説明]や[推奨される操作]（利用可能な場合）で、問題の解決に役立つイベントに関する詳細を確認します。「ワークロード分析」ボタンをクリックすると、問題のさらなる分析に役立つ詳細なパフォーマンスチャートが表示されます。



Active IQ Unified Manager でストレージオブジェクトを検索する

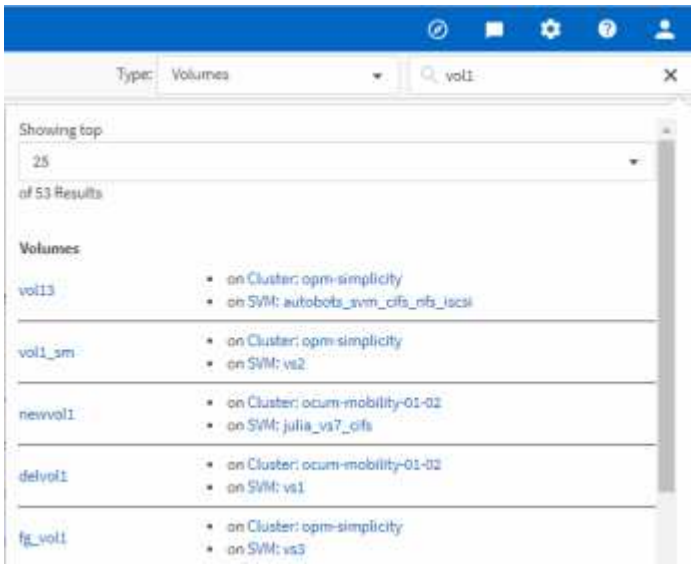
特定のオブジェクトにすばやくアクセスするには、メニューバー上部の「すべてのストレージオブジェクトを検索」フィールドを使用できます。この、すべてのオブジェクトを対象としたグローバル検索方法により、種類別に特定のオブジェクトをすばやく見つけることができます。検索結果はストレージオブジェクトの種類ごとに並べ替えられ、ドロップダウンメニューを使用して絞り込むことができます。有効な検索語句には、少

なくとも3文字が含まれている必要があります。

グローバル検索では結果の総数が表示されますが、アクセスできるのは上位25件の検索結果のみです。そのため、グローバル検索機能は、探したいアイテムが分かっている場合に、特定のアイテムを素早く見つけるためのショートカットツールと考えることができます。完全な検索結果を得るには、オブジェクトインベントリページの検索機能と、それに関連するフィルタリング機能をご利用ください。

ドロップダウンボックスをクリックして「すべて」を選択すると、すべてのオブジェクトとイベントを同時に検索できます。または、ドロップダウンボックスをクリックしてオブジェクトの種類を指定することもできます。「すべてのストレージオブジェクトを検索」フィールドにオブジェクト名またはイベント名を3文字以上入力し、**Enter** キーを押すと、次のような検索結果が表示されます。

- クラスタ：クラスタ名
- ノード：ノード名
- アグリゲート：アグリゲート名
- SVM：SVM名
- ボリューム：ボリューム名
- LUN：LUNパス



LIFとポートは、グローバル検索バーでは検索できません。

この例では、ドロップダウンボックスで「ボリューム」オブジェクトタイプが選択されています。「すべてのストレージオブジェクトを検索」フィールドに「`vol`」と入力すると、名前にこれらの文字が含まれるすべてのボリュームのリストが表示されます。オブジェクト検索の場合、検索結果をクリックすると、そのオブジェクトのパフォーマンスエクスプローラーページに移動できます。イベント検索の場合、検索結果の項目をクリックすると、イベント詳細ページに移動します。

Active IQ Unified Manager でインベントリページのコンテンツをフィルタリングする

Unified Managerでインベントリ ページのデータをフィルタリングし、特定の条件に基づ

いてデータをすばやく特定できます。フィルタリングを使用すると、Unified Manager のページの内容を絞り込んで、関心のある結果だけを表示できます。そのため、関心のあるデータだけを効率的に表示できます。

「フィルタリング」を使用して、好みに合わせてグリッド表示をカスタマイズできます。利用可能なフィルターオプションは、グリッドに表示されているオブジェクトの種類に基づいています。現在フィルターが適用されている場合、適用されているフィルターの数がフィルターボタンの右側に表示されます。

次の3種類のフィルタ パラメータがサポートされています。

パラメータ	検証
文字列（テキスト）	演算子は、含む、で始まる、で終わる、*含まない*です。
数値	演算子は、**greater than**、**less than**、**in the last**、**between** です。
列挙（テキスト）	演算子は「is」と「is not」です。

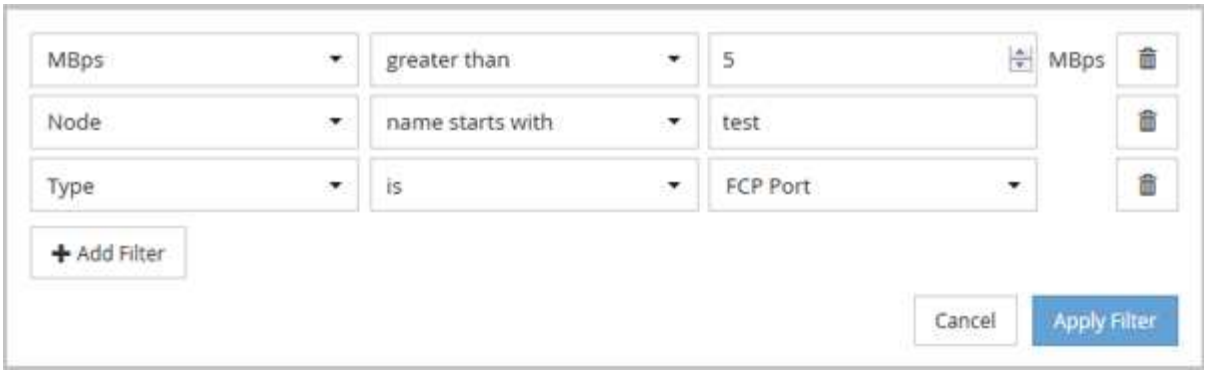
それぞれのフィルタに、[列]、[演算子]、[値]の各フィールドが必要です。使用可能なフィルタは、現在のページのフィルタ可能な列に基づいて決まります。適用できるフィルタは4つまでです。フィルタ パラメータの組み合わせに基づいてフィルタされた結果が表示されます。フィルタされた結果は、現在表示しているページだけでなく、フィルタで検索するすべてのページに適用されます。

フィルタは[フィルタ]パネルで追加できます。

1. ページ上部の「フィルター」ボタンをクリックします。フィルタリングパネルが表示されます。
2. 左側のドロップダウンリストをクリックしてオブジェクトを選択します。たとえば、*Cluster* やパフォーマンスカウンターなどです。
3. 中央のドロップダウン リストをクリックし、使用する演算子を選択します。
4. 最後のリストで、値を選択または入力してそのオブジェクトのフィルタを完成させます。
5. 別のフィルターを追加するには、「+Add Filter」をクリックしてください。追加のフィルターフィールドが表示されます。前述の手順に従って、このフィルターを完成させてください。4つ目のフィルターを追加すると、「+Add Filter」ボタンが表示されなくなることに注意してください。
6. *フィルターを適用*をクリックします。フィルターオプションがグリッドに適用され、フィルターの数がフィルターボタンの右側に表示されます。
7. 個々のフィルタを削除するには、[フィルタ]パネルで、削除するフィルタの右にあるごみ箱のアイコンをクリックします。
8. すべてのフィルターを解除するには、フィルタリングパネルの下部にある「Reset」をクリックしてください。

フィルタリングの例

この図は、3つのフィルターが表示されたフィルタリングパネルを示しています。「+Add Filter」ボタンは、フィルターの数が最大4つ未満の場合に表示されます。



*「フィルターを適用」*をクリックすると、フィルターパネルが閉じ、フィルターが適用され、適用されたフィルターの数が表示されます（ 3 ）。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。